

ステータス振り盛大にミスったのでひたすら釣りをしたいと思いま  
す。

?みsoshiru\_?

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

NWOを始めた「シューフード」こと吉川海斗は、DEXをEXと読み間違えて深夜テンションで極振りしてしまう。

(もちろん悪い意味で)ふざけたステータスと「高い」の域を超えないプレイヤースキルで当然まともに戦えるわけもなく、シューフードは戦いを諦めひたすら釣りをしまくる。

だが、NWOで変なことをしているプレイヤーが運営の悪ふざけを手に入れないはずもなく…

## 目次

釣り師と設定	1
釣り師とやらかし	4
釣り師と初戦闘	7
釣り師と掲示板	10
釣り師と諦め。	16
釣り師と白虹魚（プリズムフィッシュ）	20
釣り師と近接魔法（きんせつまほう）。	23
釣り師と騙し。	26
釣り師と湖蛇（こへび）戦。	30
釣り師と技術（スキル）三昧（ざんまい）。	34

## 釣り師と設定

1. しーふーどの魚辞典

プリズムフィッシュ  
・白虹魚 Prism Fish

とにかく真つ白な魚。白いのにドロップする鱗はなぜか虹色。

そうかくほすう  
総確保数：403

ドロップ品とドロップ率：EXP：10、虹の鱗0〜2枚（1枚5

0%、2枚15%）、欠けた鱗（0.5%）

名前の由来：Prism<sup>プリズム</sup>：白い光を当てると虹を作るガラス

・鋸刺魚<sup>ソーレミアス</sup>Saw pierce

赤と緑の魚。体長は30cmくらい

そうかくほすう  
総確保数：0

ドロップ品とドロップ率：?????

名前の由来：ピラニアを漢字で書くと鋸刺鮭

2. ステータス

Lv20

EXP 702／890

HP 9／30<—10> || 30

MP 30／30 || 30

【STR 10<+26> || 36】

【VIT 0<+20> || 20】

【AGI 10<+24> || 34】

【DEX 110<+20> || 130】

【INT 10<+20> || 30】

STATUS POINT 17

装備

頭【空欄】

体【初心者服】

右手【初心者の槍】

左手【空欄】

足【初心者ズボン】

靴【初心者のブーツ】

装飾品【魅惑の鱗】

【空欄】

【空欄】

スキル

【毒耐性・大】ジャイアントキリング【大物喰らい】【釣り】【近接魔法I】【サイコパンチ】【害悪プレイヤー】

3. オリジナルキャラ オリジナルスキル オリジナル装備解説

シーフーど

DEXぶっぱの槍使い。最初は極振りだったがだんだんステータスがバランス良くなってきている。完璧主義者で、中途半端なものやよくわからないものがあると無我夢中むがむちゆうにそれを完成させる。引くほど酒に弱く、飲まなくても近くにいただけで酔い、ちよつとアホになる

釣りにハマって、最近はずっと釣りをしている。

戦闘スタイルは槍を投げて敵を串刺しにして固定し、ナイフで刺し続ける等のハメ技

スキル 【近接魔法】 STRバフや近距離攻撃の魔法

【サイコパンチ】【近接魔法】がI以上使える。正面に強めなパンチをする。消費MP15

【害悪プレイヤー】このスキルの所持者によるバインドやノックアウト等の位置固定、強制位置移動の効果を1.5倍にする

【型破り：釣り竿】

装備 【魅惑の鱗】

【HP】—10【STR】+20【VIT】+20【AGI】+20【DEX】+20【INT】+20

4. NWOのオリジナル設定  
ステータスの適応順

1. 基礎ステータス 2. 装備 3. スキル 4. バフ/デバフ  
 モンスターを倒す等を行うことでEXPをもらえる。  
 買うと金額の0.01倍の経験値、売ると0.1倍の経験値がもら  
 える。

EXPを十分手に入れることでレベルアップする  
 レベルアップに必要なEXPは

1↓2	10EXP	9↓10	80EXP
2↓3	10EXP	10↓11	80EXP
3↓4	20EXP	11↓12	130EXP
4↓5	20EXP	12↓13	130EXP
5↓6	30EXP	13↓14	210EXP
6↓7	30EXP	14↓15	210EXP
7↓8	50EXP	15↓16	340EXP
8↓9	50EXP	16↓17	340EXP

といった風に、2レベルごとにフィボナッチ数列×10上がる。  
 死亡するとEXPが全損する

一時間で釣れる魚の数  $\parallel$   $DEX \times 0.36 + 3$  (少数切り捨て)

【釣り】スキル込みの場合

一時間で釣れる魚の数  $\parallel$   $DEX \times 0.7 + 3$  (少数切り捨て)

(P) <sup>プレイヤースキル</sup> Sや運によってやや変化する

## 釣り師とやらかし

大体のMMORPGゲームでは、ステータスを自分で選べる。そして、最近話題の新作VRゲームNew World Online、通称NWも例外ではない。そして本作の主人公、「シーフード」こと「吉川海斗」は、盛大にステ振りをミスリ、最初の街の噴水に腰かけてうつむいていた。

1日前…

「よっしゃー初期設定やるぞー!」

俺、吉川海斗は、念願のNWを手に入れた喜びと午後11時という時間が合わさってハイになっていた。

プレイヤーネームはいつもどおり「シーフード」にし、武器もいつもどおり槍にした。問題が起きたのはその次のステータス振りだった。

NWでは、ステータスポイントを好きなステータスに付与して、ステータスを上げることができる。初期、つまり始めるときは、ステータスポイントを100もっていて、レベルが偶数になるたびに5増え、レベルが10の倍数の時に10増える。そして振り分けられるステータスは7種類ある。

攻撃を受けると減り、0になると死亡するHP(体力)、魔法を使うと減り、なくなると回復するまで魔法が使えなくなるMP(魔力量)、物理攻撃の威力を上げるSTR(攻撃力)、受けるダメージを減らすVIT(防御力)、走る速度を上げるAGI(素早さ)魔法攻撃の威力を上げるINT、そして鍛冶、釣り、弓矢の当てやすさ等を上げるDEX(器用度)がある。

DEXはDexterityの約であり、器用度を表している。もう二度言おう。DEXである。DEX。

「お?なんだこれ... EX?なにそれ強そう! EXに極振りしちゃおう」

EXじゃなく、DEXである。しかも、極振り。極振りとは、ステータスポイントをすべて一つのステータスに振るということで、極振り

をする人は、ゲームのことを何も知らない初心者、自分の腕によつぽど自信がありわざとハンデをつける上級者、そしてふざけてやる人だけである。つまり極振りはずごく弱い。ハイになつていたとはいえ、俺はあの時何故こんなバカなことをしたのだろう。

自分の致命的なミスにまだ気づいていない俺は、上機嫌で容姿の変更をする。

といつても、髪と目の色しか変えられないので、髪を深い青、目を青緑色にし、初期設定を終え、期待を胸に光に包まれた。DEX極振りという、いかれたステータスの上に、低くはないが「高い」の域を出ないプレイヤースキルせいで、地獄を見ることになるとは知らずに…。

L v l

H P 4 0 / 4 0

M P 1 2 / 1 2

【S T R 0 < + 6 >】

【V I T 0】

【A G I 0 < + 4 >】

【D E X 1 0 0】

【I N T 0】

装備

頭 〇

体 【初心者服】

右手 【初心者槍】

左手 【使用不可】

足 【初心者ズボン】

靴 【初心者ブーツ】

装飾品 〇

〇





## 釣り師と初戦闘

初期設定を終え、街にレポートしたシーフードは、早速西の森に行く。

：のかと思いきや、ログアウトして寝た。

次の日、学校から帰ってきた海斗は、NWOにログインし、西の森に向かう。AGIが装備込みで4しかないのですごく遅いのだが、街の中で見た「私遅！」って慌てていた子よりは速かった。

森の中で歩いていると、リンゴのようなウサギに遭遇した。

「うおーこれってモンスターか？めっちゃ可愛いけど。って危ない！」

完全に油断していたシーフードにウサリンゴ（シーフードが勝手につけた名前）が突進を繰り返す。シーフードは反応こそできたものの、避けることはできず、ウサリンゴの突進を食らった。

VIT0でHP40のシーフードは、その一撃でHPが溶けきり、デスした。

シーフードは、「危ない！」とか言っておきながら、最弱モンスターに瞬殺されたのだった。

「クソ、次会ったらあのウサリンゴすり下ろしておいしく頂いてやる」

とかブツブツ言いながら、シーフードは再び西の森に向かう。

今度はムカデに殺された。

その後デカイハチやクモやヘビにやられ続けかれこれ一時間、ウサリンゴと感動の再開を迎えたシーフードは、先手必勝と言わんばかりに槍で突き、一撃でウサリンゴを葬った。遠くから「ウサギさくん（涙）」って叫びが聞こえたのは気のせいだろう。

『レベルが2に上がりました。』

「お！ステータスポイントが増えてる... とりあえずEXに全部振っとこ」

アホである。EXではなくDEXなことにも、自分が弱い理由がDEX極振りなことにも気づいていない。

その後もウサリングをいじめ、ハチから逃げきれずに死に、クモと激闘の末死に、ヘビに奇襲され、オオカミにボコされ、リングウサギに八つ当たりし、寝ている少女に気を取られているモンスタ―集団に奇襲を仕掛け返り討ち会い、毒耐性・大を手に入れ、それでもハチにボコされ、「5〜10分に一度スポーンポイントに戻ってくる人」として少し噂になったりしていた。

「ハア」

現在しーふーどは、街の中心にある噴水に腰かけてため息をついていた。

「もう4時間くらいやってるのにまだレベル4なんですよ！おかしくないですか？しかもウサギにしか勝てないんですよ！？っていうかあのハチ強すぎません？！ハチだけで5回以上死んでますよ！」

「あのハチは西の森で一番強いやつだからな。初日であれを倒せる奴なんていねえよ（フラグ）。それに俺も慣れるまでは死にまくってたしな。」

「大楯使い最強のクロムさんがですか？」

赤い鎧を纏っているクロムさんは笑った。

「大楯は使いづらいし特に当時は大楯使いが少なすぎて情報共有も大してできなかったからな。だが槍使いはそこそこいるから、掲示板とかで他のプレイヤーにコツとか教えてもらえばすぐ上達すると思うぞ。」

「掲示板…そうします！ありがとうございますクロムさん！」

クロムさんとフレンド登録をし、しーふーどはログアウトした。

しーふーどがログアウトしたのを見送った後、クロムは呟いた。

「ドレッドみたいに感が鋭い訳じゃないが…第一イベントは荒れそうだな。」

ステータス

L v 4

HP 40 / 40

MP 12 / 12

【STR 0 < +6 >】

【VIT 0】

【AGI 0 < +4 >】

【DEX 110】

【INT 0】

装備

頭【】

体【初心者服】

右手【初心者槍】

左手【使用不可】

足【初心者ズボン】

靴【初心者ブーツ】

装飾品【】

【】

【】

スキル

毒耐性・大

## 釣り師と掲示板

とある掲示板（【NWO】やばい大盾使い見つけた）での出来事

18名前：名無しの大剣使い

んーまた追々情報集めるしか無いか

トッププレイヤーになるのなら自然と名前も上がってくるだろ

19名前：名無しの大盾使い

また何か見かけたら書き込むわ

20名前：名無しの魔法使い

情報提供感謝します！（敬礼）

258名前：名無しの大盾使い

あともう一つ。フレンドの初心者（槍使い）が全然勝てないって困ってたからできればコツとか教えてあげてほしい。

リンク張つとくわ koreharinkudesu. eema

chigainakurinkudesu

259 名前：名無しの弓使い

らじや

260 名前：名無しの大剣使い

らじや

【NWO 全然勝てない助けて】

1 名前：初心者の槍使い

タスケテ

2 名前：名無しの弓使い  
落ち着け

3 名前：名無しの大剣使い  
勝てないってどれくらい勝てないんだ？

4 名前：初心者の槍使い

◇◇3

ウサギにしか勝てないんです！

5 名前：名無しの魔法使い  
重症だなw

6 名前：名無しの大剣使い  
クモと戦う時の戦い方をk w s k

7 名前：初心者の槍使い

◇◇6

じゃあ一番惜しかった時のこと話すわ。

近づいてくるクモを二回刺す。クモが飛びついてきたのを薙ぎ払う。もう一度刺す。クモに飛びつかれて死ぬ。  
こんなところだ。

8 名前：名無しの大剣使い  
は？

9 名前：名無しの魔法使い  
は？

10 名前：名無しの弓使い  
俺弓使いだけど初心者の時でもクモの攻撃四発は耐えてたぞ

11 名前：名無しの大楯使い  
俺大楯使いだけど初心者の時でもクモ三発で倒せてたぞ

12 名前：名無しの双剣使い  
PS結構高くて草w

13 名前：名無しの魔法使い  
草に草生やすな

14 名前：名無しのハンマー使い  
お前ステータスどうなってんの

15 名前：初心者の槍使い  
∨ 14

EXに極振り  
16 名前：名無しの大楯使い

EX?

17 名前：名無しの双剣使い  
意味不明で草wwってかお前も極振りなのなww

18 名前：名無しの魔法使い  
草に草生やすな

19 名前：名無しの弓使い  
EXって何？槍使い限定ステータスみたいなやつ？

20 名前：名無しの槍使い  
そんなことはないぞ。俺も聞いたことがない。

21 名前：名無しの大剣使い  
嫌だったら別にいいんだが、ステータスを全部見せてくれ。

22 名前：名無しの大楯使い  
おい、それはマナー違反だろ。

23 名前：初心者の槍使い

Lv4

HP40/40

MP12/12

[STR 0<+6>]

[VIT 0]

[AGI 0<+4>]

[EX 110]

[INT 0]

装備は全部初期

スキル

毒耐性・大

24 名前：名無しの大楯使い  
見せるんかい

25 名前：名無しの魔法使い  
あ（察し）

26 名前：名無しの双剣使い  
あ（察し）

27 名前：名無しのハンマー使い



あ（察し）

28 名前：名無しの大剣使い  
それ・・・多分EXじゃなくてDEXだぞ。

29 名前：初心者 of 槍使い  
DEX？

30 名前：名無し of 弓使い  
DEX（器用度）は俺みたいな弓使いが結構重要視するステータスで、攻撃の命中率とかを上げる。

31 名前：名無し of 大楯使い  
あと鉱石の採掘、釣り、鍛冶、その他の効果を上げるから生産職が愛用するな。

32 名前：やらかした槍使い  
え・・・

33 名前：名無し of 双剣使い  
コテハンやらかした槍使いになってて草ww

34 名前：名無し of 魔法使い  
草に草を生やすな

35 名前：名無し of 大剣使い  
なにかアドバイスがある槍使いはいるか？

36 名前：名無し of 槍使い  
一番オススメ生産職になることだな。あまり詳しくはないが、高いDEXが活きると思う。戦闘員になりたいならアカウント作り直す

ことがいいと思う。そうするならオススメの振り方紹介する。もし  
どうしても今のアカウントで勝負したいなら、オススメはしない  
が・・・ 槍・・・ 投げるとか？

37 名前：やらかした槍使い  
・・・ 投げに逝ってきます。

38 名前：名無しの双剣使い  
この漢字はわざとなのだろうか

## 釣り師と諦め。

39 名前：名無しの大剣使い  
ところでなぜ投げるのはお勧めしないんだ？

40 名前：名無しの槍使い  
外しやすいし、当たっても外しても取りにいかないといけない。あのステータスだと回収する間に死にそう。

41 名前：名無しのハンマー使い

あ

42 名前：名無しの大楯使い

あ

43 名前：名無しの双剣使い

草ww

44 名前：名無しの魔法使い

草に草生やすな

65 名前：名無しの斧使い

お前らスルーしてるけど毒耐性大ってすげえな

66 名前：名無しの双剣使い

EXの破壊力が高すぎて気づかなかったわww

67 名前：名無しの大剣使い

きつとフォレストクインビーとの戦いの証だ

68 名前：名無しのハンマー使い

クソハチめ！

69 名前：名前：名無しの斧使い

クソハチめ！

70 名前：名無しの魔法使い

お前ら急にどうした

71 名前：やらかした槍使い

クモは倒せた

72 名前：名無しの大剣使い

おかえりそしておめでとう

73 名前：名無しの槍使い

あのネタ戦法で勝てたんか

74 名前：名無しの双剣使い

ネタ戦法って言っちゃってて草ww

75 名前：名無しの魔法使い

草に草生やすな

76 名前：やらかした槍使い

木にクモを串刺しにして買ったナイフで刺し続けた

77 名前：名無しの弓使い

え：

78 名前：名無しの双剣使い

こわ：

79 名前：名無しの大剣使い

サイコ：

80 名前：名無しの槍使い

確かに可能だろうけど…

81 名前：やらかした槍使い

あれ？俺なんかやっちゃいました？

82 名前：名無しの魔法使い

別にお前チートではないからww

83 名前：名無しのハンマー使い

懐かしいな…

84 名前：名無しの呪魔法使い

え〜どこが懐かしいの〜？

〜始まりの街〜

「ふく疲れたらつてもうこんな時間！一日中戦ってまだレベル6か…。」

ステータスを確認して呟く。

「DEXは上げてても意味ないしこれはとりあえずATKに振るか。じゃあもうこんな時間だし、」

「もう止めよ」

そう言い、ログアウトしようとした時、

ログアウトボタンがなくなっていた。

という冗談は置いておいて、赤い人に拉致された。

く拉致先でのとある武器屋く

イ「クロムはそっち方面だったのね」

ク「え？」

イ「やっぱり通報しておこうかしら」

ク「ち、ちよつと待てよ！なんでそうなるんだよ！」

し「通報しちやつてくださいこの人誘拐犯ですので」

ク「しーふーども変なこと言うなって！」

イ「ふふつ、冗談よ。(し「俺は本気ですよ」)それで本題は？」

ク「こいつがこの前言ったDEX極振りの奴だ」

し「あれ？無視？」

イ「成る程、この子が。私はイズ。見ての通り生産職で、その中でも鍛冶を専門にしているわ。調査とかもできるけどね。」

し「あ、どうも、しーふーどです。自己紹介異様に慣れてます」

ク「じゃあ俺は用事があるから」

し「え、あ、はい」

イ「しーふーど君、一つ頼み事をしてもいいかしら？」

し「頼み事？」

イ「街から南に広い地底湖があるんだけど、そこの白い魚をできるだけ釣ってきてほしいの。」

し「戦っても効率悪いしな、釣りをしてステータスを上げるか）わかりました。明日釣りにいきます」

そう言つてしーふーどはログアウトした。

ステータス

Lv6

HP40/40

MP12/12

【STR 5<+6>】

【VIT 0】

【AGI 0<+4>】

【DEX 110】

【INT 0】

装備

頭【】

体【初心者の服】

右手【初心者の槍】

左手【使用不可】

足【初心者のズボン】

靴【初心者のブーツ】

装飾品【】

【】

【】

スキル

【毒耐性・大】ジャイアントキリング【大物喰らい】

## 釣り師と白虹魚（プリズムフィッシュユ）

次の日、ログインしてすぐ釣り竿を買い、地底湖に向かった。  
今日は土曜日で学校が無いので、鼻歌を歌い上機嫌じょうきげんそうにしていた  
しーふーどだが、そんな気分はすぐに打ち砕かれた。

道の途中で狼×3に遭遇そうぐうした

負けて氏ぬ  
たたかう

捕まっつて氏ぬ  
にげる

命を差し出す  
あきらめる

STRに少しだけステータスを振り、DEXを活かした戦い方を身  
に着けた今なら、狼一匹なら何とかなつたかもしれない。しかし、3  
匹相手にはどうしようもなく、AGI 4（装備込み）で逃げ切れる  
はずもなく、瞬く間に始まりの街に送られた。

そう、得意なはずの釣りにすらこの尖りすぎたステータスは邪魔を  
するのだった。

その後、モンスターを避け続け、何とか地底湖に着いた頃には一時  
間半経っていた。

予想以上に時間がかかったが、気を取り直して湖に糸を垂らす。

プリズムフィッシュユ  
白虹魚と呼ばれる真っ白の魚がかかると、慣れた手つきで釣り上  
げ仕留め、また釣り糸を垂らす。現実でもたまに釣りをすると高い  
DEXが相まあいつて、これすべてをするのに一分半しかたっていない。  
メイプル（DEX0）は一匹釣るのに20分、初期のサリー（DEX  
25）は一匹に五分かかると考えるとかなり速い。

20分くらい釣っていると、【釣り】スキルを手に入れた。

【釣り】の効果は絶大ぜつだいで、釣る速さが倍近くになった。

釣り始めてから約三時間、どんどん釣れる魚とみるみる上がるレベ  
ルで上機嫌じょうきげんになっているしーふーどの元に、奇妙きみょうなアイテムがドロツ  
プする。

欠けた鱗うろこ 【ウルトラレア】

二つ集めると…

完璧主義者のしーふーどにとって、欠けていて効果が分からないこのアイテムは苦痛でしかなかった。昼ご飯を食べるためにログアウトする予定も忘れて、しーふーどはもう一つ見つけるため、再び釣りに没頭した。

〜二時間後〜

釣り始めて5時間10分、釣った魚403匹、しーふーどは再び欠けた鱗を手に入れた。  
欠けた鱗を両手に持ち繋げると、虹色の眩しい光が辺りを包んだ。

「っ！」

光が止み目を開くと、しーふーどの手には虹色に輝くきれいな鱗のペンダントが乗っていた。

魅惑の鱗【ウルトラレア】

【HP】 -10

【STR】 +20

【VIT】 +20

【AGI】 +20

【DEX】 +20

【INT】 +20

「HPが10下がってMPは変わらずそれ以外が20上がると…なるほど…」

つて20!!全ステータス20アップ!! (違います) 全ステータスが!! (違います) 20!!え!!嘘だろ!!は!!全ステータス

「ただいましーふーどが大変荒ぶっておりますので少々お待ちください」

一分後、お腹が空いていることに気づいたしーふーどは、昼ご飯を



食たべにログアウトした。  
これこがしーふーどらどの伝説とんの始はまりれであるす。  
ステータス

Lv18

EXP 600/890

HP 30/40<-10>

MP 12/12

【STR 5<+20>】

【VIT 0<+20>】

【AGI 0<+20>】

【DEX 110<+20>】

【INT 0<+20>】

STATUS POINT 35

装備

頭【空欄】

体【初心者の服】

右手【釣り竿】

左手【ただのナイフ】

足【初心者のズボン】

靴【初心者のブーツ】

装飾品【魅惑みわくの鱗うろこ】

【空欄】

【空欄】

スキル

【毒耐性・大】ジャイアントキリング【大物喰らい】大【釣り】

釣り師と近接魔法（きんせつまほう）。

吉川海斗しーふうどの母は、酒豪しゅこうでありさらに重度のポンコツだった。

その度合いは凄まじく、今は缶ビールを飲みながらコーラを飲んでいると勘違いしている。

結局気づかないまま飲み終わった後のち、二階にある自室から降りてきた海斗しーふうどと昼ご飯を食べた。

吉川海斗は、母と違い引くほど酒に弱い。

その度合いは凄まじく、リビングに漂ただよう酒の空気だけで判断力はんだんりよくが低下する程だ。判断力が低下する程だ（大事なことなので二回言いました）

～NW0内～

大漁のおかげでお金に余裕のあるしーふうどはショップに来ていた。

そこには数々の装備や魔法、スキルの巻物が売っている。数々の選択肢の中からしーふうどの目に留まったのは、「近接魔法きんせつまほう」だった。

【近接魔法】とは自身のSTRバフや近距離攻撃きんきよりこうげきなど、近接戦闘用の魔法だった。

この【近接魔法】は、お察さつしの通りネタ魔法だった。その一番の理由は、攻撃スキルを使ったほうが強いことだ。攻撃範囲は変わらず、近接魔法のほうが火力が若干上がれど、MPを消費する。更に、STRではなくINTで計算する。それだけならまだ使う人がいたかもしれないが、【近接魔法】は全てすべ、なぜか魔力消費が高く、コスパが悪かった。

近接戦闘を得意とする人は、普通STRを上げるところをINTとMPの二つを挙げることを強いられることにより火力が落ち、魔法使いは距離という強みを奪われる。距離を詰められたときに使うとしても、【フレアアクセル移動系魔法】等で逃げながら【爆炎ノックバック系魔法】等でノックバックさせたほうがよっぽど強い。

これにより【近接魔法】を使いこなすには、INTがSTR以上で、近接戦闘ができ、MPが高い必要がある。更にSTRバフも活かすのであれば攻撃力も高くないといけない。

運用に必要なステータスで考えると、魔法なのでINTとMP、STRバフを活かすためにSTR、攻撃を受けて安易に死なないようにHPとVIT（一部例外を除く）、近づく&避けるためにAGIと、有効活用するにはDEX以外全てに高水準なステータスを必要とする。有効活用するにはDEX以外全てに高水準なステータスを必要とする。（大事なことなので二回略）

ここでもう一度しーふーどのステータスを確認してみよう。

Lv18

HP30／40<—10>

MP12／12

【STR 5<+20>】

【VIT 0<+20>】

【AGI 0<+20>】

【DEX 110<+20>】

【INT 0<+20>】

唯一必要ないDEXだけ高く、それ以外はレベル1だと言われたほうが納得するような数値で、《近接魔法》は一切役に立たないことは酔っついても明白だった。

でも安い（建前）のとエフェクトのカッコよさ（本音）で結局買った。

それに合わせ、INTとMPも上げ、ついでに釣り竿も【すごいっりぎお】に新調し、鼻歌を歌いながらショップを離れた。

その後、酔いがさめたしーふーどが発狂はつきやうしたんだとかしてないん

だとか

Lv18

EXP 702/890

HP 30/40 <-10 > || 30

MP 30/30 || 30

【STR 5 <+20 > || 25】

【VIT 0 <+20 > || 20】

【AGI 0 <+20 > || 20】

【DEX 110 <+40 > || 150】

【INT 10 <+20 > || 30】

STATUS POINT 12

装備

頭【空欄】

体【初心者服】

右手【すごいつりざお】

左手【ただのナイフ】

足【初心者ズボン】

靴【初心者ブーツ】

装飾品【魅惑みわくの鱗うろこ】

【空欄】

【空欄】

スキル

【毒耐性・大】ジャイアントキリング【大物喰らい】釣り【近接魔法I】サイコパンチ

釣り師と騙し。

「イズ工房」

し「イズさん白虹魚の鱗持ってきましたー」

い「あら早かったじゃない。何枚手に入ったの？」

し「318枚です！」

い「318…。そ、そう。（思ったより多いわね。何とかして報酬**ほうしゅう**ぼったくれないかしら。そうだ！）しーふーど君これを上げるわ。」

し「これは？」

い「これは【鏡の水】。何かのクエストフラグを立てるのに必要なレアアイテムよ。」

し「そんな貴重なものもらっていいんですか？」

い「しーふーど君には頑張ってもらったからね。（本当は使い道がわからないからだけど）」

し「ありがとうございます！失礼します。」

レアアイテムを手に入れたしーふーどは近接魔法のことなんてすっかり忘れて上機嫌でイズ工房から出て行った。

それを見送るイズさんも大量の鱗をほぼ無料で手に入れニッコリしていた。

しかし、機嫌のいいしーふーどはフラグでしかなく、フォレストクインビー二体に囲まれ、なすすべもなく倒された。

「とどめだ！サイコパンチ！（精一杯のイケボ）」拳の形をした青い光が狼を殴り狼のHPの消し飛ばした。

今のMPだと二回しか使えないものの、近接魔法の火力はそこそこあり、西の森ではある程度戦えるようになっていた。

『スキル【害悪プレイヤー】を取得しました』

し「純粋な悪口じゃん」

狼と木に固定するために刺していた槍を抜きながらスキルを確認

する。

スキル【害悪プレイヤー】

このスキルの所持者によるバインドやノックバック等の位置固定、強制位置移動の効果をも1.5倍にする

取得条件

10回敵の自由を奪いながら倒す

し「あれ？俺だけ格ゲーしてない？」

く

数分後、Lv20になりステータスも少し弄ったシューフーどはとある湖に来ていた。

そこは森の中にあり、鏡のように水が澄んでいて、幻想的な光がさしていた。そして何よりの特徴が、ピラニア、亀、ウミヘビなど、多種多様な魚が泳いでいたことだ。

早速釣り竿を手に持ち糸を垂らす。

数秒後、体長30cm程の赤と緑色の綺麗な鱗の魚が釣れる。

仕留めるために左手に持ったナイフを振ると、魚は身をひるがえしそれを避け、シューフーどの手に噛みつく。

「っ！」

急いで振り払うものの、攻撃された驚きと噛まれたことこの条件反射でナイフを水に落としてしまう。

ポチャン

「あ」

ナイフを拾おうとすると、先ほどイズさんから貰った【鏡の水】が反応する。

インベントリから出てきたそれは、ポチャンつと小さな音を立てて湖に落ちる。すると、そこから長いストレートの青髪の美しい女性が上半身だけ出てくる。

女「あなたが落としたのはこの金のナイフですか？それともこの銀のナイフですか？」

し「金のナイフを落しました！」

女「そうですね。もう落とさないうちに気を付けてくださいね。」  
一瞬の迷いもなく清々きよきよしいほどの嘘をつくしーふーどに対し女性  
は微笑み、金のナイフを渡す。

「返していただきありがとうございます。」

金のナイフに気を取られているしーふーどを三つの斬撃が襲う。

し「ふあ!?!」

華麗かたれいに避けようとしたが結局当たってしまったしーふーどは後ろ  
に大きく跳とび、「初心者初心者の槍」に持ち替え顔を上げるとそこには目が赤  
く光り、綺麗だった顔が怒りに歪み、三本の指からナイフのような爪  
が生えていて、蛇の下半身をしている先ほどの女性がいた。

し「これは、、ナーガ!嘘ついたから怒ってるのか!」

女「湖の…」

女「ポイ捨て…」

女「厳禁!!! 命で払え!」

し「そつちかよ!」

Lv20  
EXP 702/890  
HP 9/30<-10> ||30  
MP 30/30 ||30  
【STR 10<+26> ||34】  
【VIT 0<+20> > ||20】  
【AGI 10<+24> > ||34】  
【DEX 110<+20> > ||130】  
【INT 10<+20> > ||30】  
STATUS POINT 17

装備

頭【空欄】

体【初心者初心者の服】

右手【初心者初心者の槍】

左手【空欄】

足【初心者ズボン】

靴【初心者のブーツ】

装飾品【魅惑みわくの鱗うろこ】

【空欄】

【空欄】

スキル

【毒耐性・大】ジャイアントキリン【釣釣り】【近接魔法Ⅰ】【サイコパンチ】【害

悪プレイヤー】



## 釣り師と湖蛇（こへび）戦。

ナーガの頭上にHPゲージが現れる。

『湖蛇』が咆哮を上げた。

とりあえず木の裏に隠れ、HPを確認する。今の一撃で21も減っていた。

し「マジかよ、あと一発で死ぬじゃん。っ！」

さつきと同じ攻撃で隠れていた木が倒され、現れた湖蛇が狂ったようにひっつかいてくる。幸い、パワーがあれば大振りの攻撃はなんとか避けられる程度だった。

「サイコパンチ」

青い拳が湖蛇の手のひらに当たり、一瞬動きを止める。その隙に近づき、胸に槍を突き刺す。それにより湖蛇のHPは…… 殆ど減らなかつた。

横に薙ぎ払うように振られた腕をマトリックスで（奇跡的に）避け、距離を取る。

すると湖蛇は追いかけて、大きく息を吸う。よく見ると、首の辺りが青く光っている。

し「ブレス攻撃!?あれナーガってなんだっけ」

槍を投げ、DEX130で繰り出される槍は無事湖蛇の光る首にぶつ刺さる。

湖「グイアアアアア」

絶叫と共に尾を伸ばし湖を巻き込まないようにするためか高く上がり、ブレスが暴発し頭辺りが爆発する。

それにより湖蛇のHPが半分近く削れるが、槍が威力に耐え切れずに壊れてしまう。

5mを超える巨体を現した怒り狂う湖蛇に、槍を失ったしーふーどは右手に「すごいつりざお」、左手に「金のナイフ」とかいう個性的な装備で挑む。

湖蛇の鋭い爪が迫ってくる。釣り竿はもちろん、ナイフで受け止められるような質量ではない。

だが、対処法は既に考えてある。  
ドコッ

ナーガの腕にとつともなく硬いものが当たる。それは――

――釣り竿の先に掛かった亀だった。ちなみに、この亀は現在のメイプルより硬い。

『スキル【型破り：釣り竿】を獲得しました。』

「（今確認する暇はないな。）とりや！」

亀をモーニングスターのように振り回す。これにもDEX補正が乗るのか、的確に湖蛇の腕を当て、攻撃を阻害する。避けたり防いだりを繰り返しながら必死に考える。

（ブレスが暴発したとき、あれはなぜ上がった？湖への被害を抑えるため？そういえば今までも水しぶきが殆ど立ってないな、湖に過度な振動を与えないため？なぜそんなことを。この湖に刺激してはいけない何かがある？いったい何が……！なるへそ！）

すごく悪い顔をしたシューフーどは、亀の首を切り落としHPを全損させる。次に金のナイフを湖蛇の目に向かってに投げつけ、頬に刺さりクリティカルヒットする。

クリティカルヒットは低確率で起きる現象で、発動するとダメージ1.5倍、更にノックバックをする。つまり大きな隙ができ、その間にウミヘビを釣り上げる。

シューフーどをまたもや三つの斬撃が襲う。当たれば死ぬうえに反応が遅くもう避けきれない。爪の一つがシューフーどを肩を捉える。

シューフーどのHPがみるみる減っていき0になる

直前に止まる。

釣り上げたウミヘビを湖蛇に投げつけ、ウミヘビが締め付け動きを止める。

「やっぱりな。最初に当てられたときはHPが21減った。それで残りHPは9。当たればもちろん死ぬ。ただし、もし爪の一つ一つに当たり判定があると仮定すると、爪一つ一つのダメージは7。よって爪一つなら耐えきれる。」

釣り糸をナーガに巻き付け引つ張り、全力で跳び、一気に距離を詰

める。

し「サイコパンチ」そしてお前が徹底して水飛沫を出さなかったのは」

ナーガが大きく仰け反る。

し「最初に釣り上げたあの魚、どこかで見たことがあった。約30cmの大きさ、赤と緑の鱗、そしてあの鋭い歯。家で飼ってて助かった」湖にいるピラニアたちを刺激しない為だよなあ！」

ナーガの上に立つようにいるしーふーどは「金のナイフ」を抜き取り、釣り竿を解き、踏みつけるように跳び、空中で一回転し陸に着地する。

一方、ウミヘビに絡みつかれ、碌に動けない湖蛇は湖に倒れていく。

バツシャーーン

5mを超える巨体が水面を叩きつける。

ピラニアは普段は臆病だが、血の匂い、または水を叩く音に反応し興奮状態になり群れで攻撃する。

ボコボコボコ

目に見えて水が盛り上がるほどのピラニアが湖蛇を襲い、湖蛇のHPがみるみる減っていく。

だが、湖蛇も黙ってやられるつもりはない。爪を振り回し、青いブレスを撃ち続け、確実にピラニアの数を減らしていく。

この映像を酒場にでも見せたら賭けが行われるだろう程の接戦だった。ピラニアの数は既に半分以下になっており、湖蛇のHPも1/4を切っていた。

約一分の戦いが終わった。しんと静まり返った湖に残ったのはHPが虫の息しか残っていない湖蛇だった。

なんとかピラニアとの戦いに勝った湖蛇の目にしーふーどの姿が映る。迎撃しようとして腕を振るも、今までとは比べ物にならない見切ったような動きで躲す。もう一度振られた腕も最小限の動きで避ける。

それは反射神経ではなく、運でも勘でもない。予測と呼ぶには精確すぎていて、それはもはや予知だった。湖蛇の攻撃全てを躲し、受け流し、最小限の動きで最適な行動をし続ける。

しーふーどにとって、胡蛇こへびの単純な動きを完全に把握はあくするのに、戦いが始まってからの約十分じゆつぶんは十分な時間じゆうぶんだった。

一気に距離を詰めたしーふーどは「金のナイフ」と「ただのナイフ」を取り出し、胡蛇こへびに二本の赤い線が引かれる。

反撃をしゃがんで躲かわし、距離を取りながらナイフを投げ、胡蛇こへびの両目に突き刺さる。

湖「ポイ捨て… 敵… 禁… コテン」

HPが0になった胡蛇こへびは力尽きてコテンと倒れる。

し「貴様の敗因はただ一つ。ポイ捨て… コテン… こ、こて… い概念が… えっと、固定概念がポイ捨て… だから… だ？… ふっ（諦め）」

森の奥の湖の真ん中には、亀とウミガメに見守られながらたたずみ、カツコつけようとして意味不明なことを言い、とりあえずドヤ顔をしておくしーふーどの姿があった。

しーふーど IQ130

特技：観察・分析・予測・適応・工夫

苦手：反射神経・早期決戦・カツコつけること

釣り師と技術（スキル）三昧（ざんまい）。

『スキル【精密射撃】を獲得しました。』

し「お?」

『スキル【殲滅乱舞】を獲得しました。』

し「(。・ω・)ん?」

『スキル【強欲な手】を獲得しました。』

し「多くね?」

『スキル【型破り：釣り竿】を獲得しました。』

し「あれそれさつきも聞いた」

『氣を利かせて戦闘終了まで通知しませんでしたか?』

し「え?自我あるの?」

『ないです。』

〜

し「あれ?なんか落ちてる」

胡蛇のいたところにナイフが二本と手鏡のようなものが落ちていた。

とりあえずスキルの詳細を見る前にそつちを確認する。

『ただのナイフ』（最初に落としたやつ）

『銀のナイフ』

【STR+10】

【毒刃】

【水鏡】

【VIT+10】

【反射】

し「あ、ついでにこれも見とこ」

『金のナイフ』

【STR+10】

【幸運】

し「えーつと、ついてきてるスキルは」

【毒刃】（パッシブ）このスキルを持つ武器は攻撃時に猛毒状態にす

る。

【反射】（パッシブ）受けたダメージの5%を相手に返す。

【幸運】（パッシブ）このスキルを持つ武器は攻撃時にクリティカルヒットする。

し「おお！銀のナイフは毒で、金のナイフは確定クリティカル。水鏡は相手にダメージ入るし被ダメ5%カットだし対面性能アップだ！全部強いじゃん！」

し「さてと、次はスキルを見ていくか」

【精密射撃】

（パッシブ）このスキルの所有者のDEXを1.5倍にする。

取得条件

飛び道具を50回連続で当てること。

し「シンプルに嬉しい」

【殲滅乱舞】

（パッシブ）敵を倒すと【STR】が1%上昇する。最大100%。直前に倒した敵と別の種類の敵を倒すと上昇値が消える。

（アクティブ）一時間モンスターのリポップを無くす。クールタイムは二時間

取得条件

他プレイヤーの助け無しで一種類のモンスターを全滅させること。

し「なるほど、同じ種類のモンスターを倒すたびに攻撃力が上がる感じか。モンスターを全滅…：そうか！胡蛇はプレイヤーじゃないから胡蛇がピラニアを全滅させても条件が満たされるわけか。」

【型破り：釣り竿】

（パッシブ）魚類以外のものも釣れるようになる。釣れる最大重量はSTRとDEX依存。

取得条件

釣り竿で想定されていない行動をすること。

【強欲な手】

（パッシブ）名前の違う片手武器を3つ装備できる。

取得条件

胡蛇こへびの質問に嘘をつき、倒すこと。

し「え？これってまさか…。」

装備いじを弄る

右手【すごいつりぎお】【釣り竿】【空欄】

左手【金のナイフ】【銀のナイフ】【ただのナイフ】

し「(。D。D)」

し「(。D。;)」

し「(。D。)」

し「(・▽・)ニヤニヤ」

し「よ、よし、じゃあステータス上げて釣りでもするか。」

↳数時間後↳

装備には耐久たいきゆうりよく力がある。使いすぎると壊れてしまうので、定期的ていきてきに修理しゅうりする必要がある。何が言いたいかというと、釣りをするときにはナイフ3つ全てを装備する必要がない。むしろ耐久たいきゆうりよく力の無駄だ。

というわけで【金のナイフ】と【銀のナイフ】をしまう。

そして釣りに戻り、ピラニアソーピラス(NW0では鋸刺魚のこざしうというらしい)を釣り上げる。

『スキル【釣り名人】を取得しました。』

し「またスキルか。」

『まだスキルです。』

【釣り名人めいじん】

(パッシブ) このスキルの所有者のDEXを1.2倍にする。

取得条件

たくさん釣ること。

し「おお、いったんステータス見よつと」

ステータス

L v . 2 6

E x p 3 2 / 3 7 7 0

H P 3 0 / 4 0 < — 1 0 > || 3 0

MP 300/300 = 300

【STR】 100 < +200 > = 300

【VIT】 0 < +300 > = 300

【AGI】 100 < +200 > = 300

【DEX】 127 < +400 > (×1.8) = 3000

【INT】 100 < +200 > = 300

STATUS POINT 0

『スキル【技術者I】<sup>ぎじゆつしや</sup>を獲得しました。』

し「え、また?」

『本日最後です』

し「予言?」

【技術者I】<sup>ぎじゆつしや</sup>

(パツシブ) このスキルの所有者のDEXの10%を全てのステータスに足す<sup>た</sup>。

取得条件

DEXがその他のステータス全てのちょうど10倍であること。

「は?…い、いやまぎか?…」

ステータス

Lv. 26

Exp 32/3770

HP 300/400 < -100 > +300 = 600

MP 300/300 (033+) = 600

【STR】 100 < +200 > +300 = 600

【VIT】 0 < +300 > +300 = 600

【AGI】 100 < +200 > +300 = 600

【DEX】 127 < +400 > (×1.9) = 3330

【INT】 100 < +200 > +300 = 600

STATUS POINT 0

装備

頭【空欄】



体【初心者服】

右手【すごいつりぎお】【釣り竿】【空欄】

左手【ただのナイフ】【空欄】【空欄】

足【初心者ズボン】

靴【初心者ブーツ】

装備品【魅惑の鱗】

【水鏡】

【空欄】

スキル

【近接魔法Ⅰ】【サイコパンチ】【大物喰らい】【釣り】【釣り名人】【型

破り・釣り竿】【精密射撃】【技術者Ⅰ】【害悪プレイヤー】【殲滅乱舞】

【強欲な手】【毒耐性大】

ーおまけー

ポチャン

ハ「あ」

水面に自慢の槍を落としてしまう。

そこらへんで拾った【鏡の水】が湖に落ち、青髪の女性が上半身だけ出てくる。

女「あなたが落としたのはこの金の槍ですか？それともこの銀の槍ですか？」

ハ「よお。俺の名前はハゼマルだ。お前は？」

女「あなたが落としたのはこの金の槍ですか？それともこの銀の槍ですか？」

ハ「教えてくれないか。俺が落としたのはそんな10周年記念のフィギュアみたいなやつじゃねえ。『二面性の不死鳥』様から授かった紅のカッコいい槍だ。」

女「そうですか。もう落とさないように気を付けてくださいね。」

ハ「おう。ありがとよ。」

【神鳥の槍】に気を取られているハゼマルを三つの刺突が襲う。

ハ「あゝ？」

避けるそぶりもなく顔を上げると、先ほどの美しさが一切消えたナーガのようなものがいた。そしてその両手には、存在感がすごくすごい槍のような爪が三本つつ付いていた。

女「湖の…」

女「ポイ捨て…」

女「嚴禁!!! 命で払え!」

ハ「それが最後の言葉でいいんだな?」【セルフデストラクション】  
!!!

ハゼマルを中心に巨大な爆発が起こる。爆炎が全てを包むかのようになり、胡蛇もハゼマルも湖の中の魚達も仲良くHPが消し飛んだ。

爆発が収まった跡には、木は焼ききり、湖は蒸発し、地獄絵図が広がっていた。

すると、地面に魔方阵のようなものが現れ、火柱が立つ。そしてその中から、HP満タンのハゼマルが出てきた。

ハ「初めて使ったけど、【セルフデストラクション】えげつねえな…それに【滅びぬ炎】と合わせるとデメリットなしでこの火力とか強すぎんだろ。しかもこれでも最大火力じゃないのか…お?なんだこれ」

『水鏡』

【VIT+10】

【反射】

反射】(パッシブ) 受けたダメージの5%を相手に返す。

「これ自傷ダメージにも効くとしたら結構役立つな。」

『スキル【殲滅乱舞】を獲得しました。』

『スキル【正直者】を獲得しました。』

【殲滅乱舞】 割愛

【正直者】

(パッシブ) 装備の効果が3倍になる。

取得条件

胡蛇の質問に正直に答え、倒すこと。

「おお！これはかなり強いぞ！」

強いスキルを手に入れたはずまるは鼻歌を歌いながら湖だった物を後にした。(ゲームなので少しすると戻ります)

ハゼマル

HP ???/???

【STR】 ???

【VIT】 10

【AGI】 ???

【DEX】 0

【INT】 0

右手 【神鳥しんちようの槍】

装飾品 【水鏡】

【セルフデストラクション】 【特攻飛行】 【滅びぬ炎】 【灼熱しゃくねつの炎】 【???】

【殲滅乱舞】 【正直者】